

(1)事業の概要等

事業番号	B0702-4
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	母子保健指導事業					担当部			健康生きがい支え合い推進部		
	事業期間	平成16年度	～	令和4年度		担当課			保健センター			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	7	展開方向	2	担当係			母子保健係		
	予算区分	一般会計	款	4	項	1	目	4	大	3	中	4
	根拠法令・個別計画	母子保健法					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	対象となる市民と職員の双方に対して効率的に事業を展開する。										
	対象 (何・誰を対象に)	小牧市に住民票がある妊婦とその夫(もしくはパートナー)										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>母子保健事業は育児相談や家庭訪問、健康教育、事後教室などを実施し、親子に寄り添いながら育児不安の軽減や虐待予防に努める事業を行っています。様々な事業があるなかで、保健センターで「日曜パパママ教室」を年6回実施しています。</p> <p>内容：・赤ちゃんの暮らしについて ・お父さんの役割について ・お口の健康について(動画配信) ・妊娠中の食事について(動画配信) ・赤ちゃん人形抱っこ体験 ・おうちの味を知ろう(塩分濃度測定) ・出産前に知ってほしいこと(赤ちゃんが泣き止まない)</p> <p>参加者数：R3年度85人 R2年度154人 R元年度216人 H30年度278人…①</p> <p>●直接経費 (R3年度)0円 (R2年度) 2,100円 (R元年度) 2,916円 &lt;「日曜パパママ教室」以外の主な母子保健指導事業&gt; 家庭訪問：(R3年度)569人 (R2年度)659人 (R元年度)566人 (H30年度)432人…② 育児電話相談：(R3年度)95人 (R2年度)128人 (R元年度)156人 (H30年度)164人…③ 発達相談：(R3年度)247人 (R2年度)233人 (R元年度)258人 (H30年度)242人…④ 運動発達相談：(R3年度)51人 (R2年度)35人 (R元年度)69人 (H30年度)65人…⑤ 離乳食教室：(R3年度)134組 (R2年度)127組 (R元年度)401組 (H30年度)453組…⑥ 受益者数=①+②+③+④+⑤+⑥</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4			
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	5,395	4,936	5,627
			国・県支出金	千円						
			その他	千円						
			計(A)	千円	5,395	4,936	5,627	5,897		
			対前年比	%	—	—	13	4		
			予算額	千円	6,119	6,158	7,246	6,891	7,174	
	人件費		正規職員	人	0.04	0.04	0.04	0.02		
			正規職員(平均賃金)	千円	299	299	299	150		
			その他職員	人	1	1	1	1		
			その他職員(時給×時間)	千円	5,520	5,520	5,520	5,520		
			計(B)	千円	5,819	5,819	5,819	5,670		
	事業費合計(C=A+B)			千円	11,214	10,755	11,446	11,567		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策		7		展開方向		2	
指標名		単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4		
1										
2										
3										

指標	指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
	成果指標	教室の実施回数	回	目標	6	6	6	6	2
				実績	6	5	6	4	
	活動指標			目標					
				実績					
					目標				
					実績				
	単事業あたり	受益者数(a)		人	2087	2,067	1,463	1,315	
		受益者あたり事業費(=C/a)		円	5,373	5,203	7,823	8,795	

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの							
	事業の達成状況と課題	令和元年度末から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により集団で行われる事業は中止や延期をしました。密を避けるため定員を削減し予約制にしたことで、教室自体にかかる職員の費用対効果は悪化しましたが教室参加のニーズはあり、動画配信するなど工夫して周知を図りました。動画配信することで、教室の受講者以外に興味のある方もホームページから自由に閲覧できるようになりました。パパママ教室については、令和3年度途中から子育て世代包括支援センターでも妊婦とその夫を対象にした教室が開催されており、内容は若干異なるものの出産後も利用できる子育て世代包括支援センターでの開催は、その後の活用を促す上では有効かと思われます。								
	今後の実施内容	令和4年度をもって保健センターでの日曜パパママ教室を廃止し、子育て世代包括支援センターでの教室に移行することで、職員業務の負担軽減と事業のスリム化及び参加者の利便性の向上を図れるよう検討する。								
	事務事業評価による額	5千円	節	10	細節	1	細々節	1	日曜パパママ教室で実施する減塩メニューの材料に使用する消耗品費5,000円/年	